

問1 北海道の産業構造の特徴について、市町村別の就業者割合をまとめた資料によると、道東や道南の広い範囲を含め、多くの地域で共通して高い水準にある産業分類があります。商業や観光業、医療・福祉といったサービス業を含むこの産業分類として、正しい名称を選びなさい。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 農林水産業を主体とする第一次産業 2. 製造業や建設業を主体とする第二次産業 3. 商業やサービス業を主体とする第三次産業 4. 先端技術や情報通信を主体とする第四次産業

問2 北海道の農業は、広大な土地を活かした大規模経営が特徴です。農家一戸あたりの耕地面積が全国平均と比べて極めて大きい背景や、その生産体制に関する説明として正しいものはどれですか。（2016年 京都公立入試 類似）

1. 明治時代以降の開拓により一区画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ 2. 山がちで複雑な地形が多いため、小さな耕地を多数の農家で分け合い、人力による丁寧な管理が行われている 3. 農業産出額を増やすために、狭い土地に多くの肥料や労働力を投入する集約的な農業が発達した 4. 冷害を避けるために、ビニールハウスなどの施設を小規模な土地に密集させて栽培する方法が普及した

問3 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。（2026年 三重公立入試 類似）

1. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。 2. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。 3. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。 4. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。

問4 日本最大の面積を持ち、約5.1万ヘクタールに及ぶ大規模な水稲の作付面積を誇るなど、広大な土地を活かした農業が盛んな地域はどこか、次の中から選びなさい。（2022年 愛知公立入試 類似）

1. 北海道 2. 岩手県 3. 沖縄県 4. 神奈川県

問5 日本の乳牛飼育において、飲用として出荷される牛乳の生産地が、千葉県、神奈川県、愛知県といった大都市の周辺に多く見られる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 埼玉公立入試 類似）

1. 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。 2. 大都市の周辺は北海道に比べて土地代が安く、乳牛を放牧するための広大な土地を確保しやすい環境にある。 3. 飲用牛乳は加工用生乳に比べて重量が軽く、輸送コストがほとんどかからないため、あえて都市部で生産されている。 4. 法律によって、飲用牛乳は消費地と同じ地方自治体の中で生産・処理しなければならないと定められている。

問6 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 国後島 2. 択捉島 3. 色丹島 4. 歯舞群島

問7 北海道の気候を地域ごとに比較したとき、日本海側の地域と比較した「内陸部」の特徴として、最も適切な説明はどれですか。（2019年 富山公立入試 類似）

1. 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。 2. 暖流の影響を直接受けるため、日本海側の沿岸部よりも冬の気温が高い。 3. 梅雨の時期に湿った空気の影響を強く受けるため、日本海側よりも6月の降水量が多い。 4. 夏に太平洋側から吹き込む冷たく湿った気流の影響で、日本海側よりも夏に晴天の日が少ない。

問8 北海道の道東、太平洋沿岸に位置する釧路市周辺の夏季の気候について、気温が上がりにくい理由を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城公立入試 類似）

1. 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮の影響を受けて冷やされ、霧が発生して日照を遮るため。 2. 北西から吹く乾いた季節風が、大雪山系を越える際にフェーン現象を引き起こし、雲を消し去ってしまうため。 3. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たい風が、山地にぶつかることで上昇気流となり、内陸部に大量の降雨をもたらすため。 4. 周囲を高い山々に囲まれた盆地特有の地形により、夜間に冷えた空気が日中も地表付近に滞留し続けるため。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 商業やサービス業を主体とする第三次産業	北海道は大規模な農業が盛んなイメージがありますが、実際の就業者数の構成比を見ると、他の都府県と同様に商業や観光業、サービス業などの第三次産業に従事する人の割合が最も高くなっています。特に道東や道南などの地域においても、豊かな自然資源を活かした観光業や、地域住民の生活を支えるサービス業が産業の主力的存在となっているため、広い範囲でこの割合が高くなっています。
問2	答え 1 明治時代以降の開拓により一区画の農地が広く設定されたため、大型機械による効率的な生産が進んだ	北海道は広大な平野や台地が広がっており、明治時代の開拓使などによる開発によって、当初から一戸あたりの耕地面積が大きく設定されました。このため、都府県のように限られた土地に労働力を大量投入する形態ではなく、大型の農業機械を導入して一人あたりの作業面積を広げることで、高い生産性を実現する経営が行われています。
問3	答え 3 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。	現代の日本の産業構造では全国的に第三次産業の割合が高いですが、北海道においてもその傾向は顕著です。広大な土地を利用した農業が盛んな道東地域や、歴史的景観や温泉資源を持つ道南地域などでは、観光客向けのサービス業や小売業が地域経済を支える重要な基盤となっています。そのため、都市部以外の市町村であっても、統計上は第三次産業の就業者割合が高い水準で維持されています。
問4	答え 1 北海道	我が国で最も広い面積を持つこの地域では、その広大な平野を活用して、1戸あたりの経営規模が大きい大規模な農業が行われています。特に水稻の作付面積は全国的にも非常に大きく、石狩平野などを中心に生産が盛んです。
問5	答え 1 飲用牛乳は加工品に比べて製品の鮮度を保つことが重視されるため、大消費地に近接した地域で生産されている。	生乳の生産と流通には、製品の性質に応じた明確な特徴がある。牛乳（飲用）は液体であり、品質を維持するために鮮度が極めて重要視される。そのため、輸送時間を短縮できる大消費地の近郊で生産・処理される傾向が強い。一方、バターやチーズなどの原料となる加工用生乳は、広大な土地を持つ北海道が生産の約9割を占めている。加工品は飲用牛乳に比べて保存性が高く、遠方からの輸送にも適しているため、土地条件の有利な北海道での大規模生産が可能となっている。
問6	答え 1 国後島	国後島は、北海道の知床半島の東側に位置する島です。択捉島、色丹島、歯舞群島と合わせて北方領土と呼ばれます。北方領土の中で択捉島に次いで2番目に大きな面積を持ち、根室半島の先に位置する歯舞群島や色丹島などとともに、一度も外国の領土になったことがない日本固有の領土ですが、第二次世界大戦の終結直後に当時のソ連によって占拠されました。
問7	答え 1 冬の北西の季節風が山地で遮られるため、日本海側よりも冬の降水（降雪）量が少ない。	北海道の日本海側は冬の季節風の影響で雪が多くなりますが、内陸部は山地によってその湿った空気が遮られるため、雪や雨の量が抑えられます。一方で、内陸部は地表の熱が逃げやすい盆地構造を持つ場所が多く、冬の寒冷な気候は沿岸部よりもいっそう厳しくなるといった対照的な特徴を持っています。
問8	答え 1 南東から吹く湿った季節風が、寒流である親潮の影響を受けて冷やされ、霧が発生して日照を遮るため。	釧路市周辺を含む北海道東部の太平洋沿岸では、夏に南東から湿った季節風が吹きます。この風が、千島列島から南下してくる冷たい海流（寒流）である親潮の上を通る際に急激に冷やされ、濃い海霧が発生します。この霧が広範囲を覆って太陽の光を遮るため、夏でも気温が上がりにくいという気候特性が見られます。

問1 北海道の歴史や文化において、古くからこの地に居住しているアイヌの人々に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 明治時代に北海道を開拓するために、農業を行いながら北方警備を担当した人々である。
2. 独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。
3. 鎌倉時代に本州から渡り、北海道南部の館（たて）を中心に和人の勢力を広げた武士の集団である。
4. 江戸時代に徳川将軍家から北海道の支配権を認められ、松前藩を組織して交易を独占した一族である。

問2 北海道において、近年、冬季の外国人宿泊者数が夏季の宿泊者数を上回るほどに急増している背景として、最も適切な理由はどれですか。（2018年 山形公立入試 類似）

1. 質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。
2. 冬季は夏季に比べて航空運賃や宿泊代金が大幅に安くなるよう、国と地方自治体が連携して大規模な割引政策を継続しているため。
3. 夏季の北海道は梅雨の影響で天候が不安定になることが多く、天候の安定した冬季に観光客が集中するようになったため。
4. 冬季の農閑期を利用して、外国人観光客を対象とした大規模な農作業体験ツアーが全道各地で定着したため。

問3 石狩川の上流域に位置し、旭川市などを中心とする上川盆地で見られる大規模な農業の特色として、最も適切なものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）

1. 石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
2. 冷涼な気候を活かして、牛を飼育し生乳を生産する酪農が最も盛んな地域である
3. 大規模な機械を用いた、小麦やてんさい（ビート）を生産する畑作が中心の地域である
4. 夏の涼しさを利用して、キャベツやレタスなどを出荷する高原野菜の栽培が中心である

問4 2012年から2016年にかけての、北海道における外国人宿泊者数の推移と傾向について述べた文として、統計的事実に基づいた正しいものはどれですか。（2018年 山形公立入試 類似）

1. 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。
2. 外国人宿泊者数は通年で増加傾向にあるが、2016年時点の統計においても、依然として夏季の宿泊者数が冬季を大きく上回っている。
3. 2012年から2016年にかけて、夏季の外国人宿泊者数は順調に増加しているが、冬季については横ばい、または微減の傾向にある。
4. 北海道を訪れる外国人宿泊者数は、2012年と比較して2016年には夏季・冬季ともに減少し、日本人観光客中心の構成へと変化した。

問5 北海道の道庁所在地である札幌周辺の地理的特徴と、地名の由来について述べた文として、最も適切なものはどれか。（2021年 熊本県公立入試 類似）

1. 石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民であるアイヌの言葉に由来する。
2. 大規模な火山灰地が広がる根釧台地に位置し、地名は明治時代に移り住んだ屯田兵の出身地に由来する。
3. 十勝川の流域に広がる十勝平野に位置し、地名は江戸時代の松前藩の役職名に由来する。
4. 広大な泥炭地が広がる石狩平野の沿岸部に位置し、地名は本州から移り住んだ開拓使の言葉に由来する。

問6 日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

1. 加工用 — バターやチーズ
2. 飲用 — 牛乳やコーヒー牛乳
3. 地場消費用 — ヨーグルトや生クリーム
4. 輸出用 — 脱脂粉乳や練乳

問7 日本の農業統計において、北海道は1戸あたりの経営耕地面積が10ヘクタール以上の大規模な農家が約6割を占めており、これは全国平均の約2.5%と比較して極めて高い数値です。また、農業産出額の構成比では、乳用牛や肉用牛などの部門が50%を超えています。このような北海道の農業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
2. 冷涼な気候を活かして、米や果実の生産を主力とした小規模な家族経営が中心となっている。
3. 人口の多い大都市への出荷を目的として、限られた土地で野菜を育てる近郊農業が盛んである。
4. 全国平均と比べて1戸あたりの耕地面積は小さいが、機械化によって米の産出額が半分を超えている。

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 2**
独自の言語であるアイヌ語を持ち、自然界のあらゆるものに魂が宿ると考える独自の文化を育んできた先住民である。
- アイヌの人々は、日本列島の北部や周辺諸島に古くから定住している先住民です。彼らは日本語とは系統が異なる「アイヌ語」という独自の言語を持ち、自然の中の動植物や現象を「カムイ（神）」として敬う独自の精神文化を持っていました。現在はその伝統や文化を保護・振興するための施策が進められています。他の選択肢にある屯田兵や松前藩などは、アイヌの人々とは対照的な立場や異なる歴史的背景を持つ集団です。
-
- 問2** **答え 1**
質の高い雪（パウダースノー）を求めて来日するスキー客の増加や、雪まつりなどの冬特有の観光資源が海外で高く評価されているため。
- 北海道の冬季観光は、海外から「JAPOW（Japan Powder Snow）」と称賛される質の高い雪を目的としたスキー・スノーボード客によって牽引されています。加えて、さっぽろ雪まつりなどの冬のイベントも国際的な認知度が高まっており、これらが2012年から2016年にかけての宿泊者数急増の主な要因となりました。一方、北海道には本州のような梅雨がほとんどないため、天候を理由とした夏季の敬遠は当てはまりません。
-
- 問3** **答え 1**
石狩川の豊富な水資源と土地改良によって作られた、広大な水田が広がる稲作地帯である
- 北海道の旭川市周辺に広がる上川盆地は、かつては泥炭地などが広がる耕作に不向きな土地もありましたが、大規模な土地改良と石狩川の水の利用によって、日本有数の稲作地帯へと発展しました。北海道において酪農が盛んなのは主に根釧台地、畑作が盛んなのは十勝平野といったように、地域ごとの農業の特色を区別することが重要です。
-
- 問4** **答え 1**
2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。
- 2012年から2016年の統計を確認すると、北海道を訪れる外国人宿泊者数は通年で大きく伸びています。特に冬季（12月～3月）の伸びが著しく、2012年の約117.2万人から2016年には約300.9万人へと急増しました。この結果、冬季の宿泊者数が夏季（6月～9月）の宿泊者数を上回るという、北海道観光の新しい特徴が示されています。
-
- 問5** **答え 1**
石狩川や豊平川の堆積作用によって形成された石狩平野に位置し、地名は先住民族であるアイヌの言葉に由来する。
- 札幌の市街地は、石狩川の支流である豊平川などが運んだ土砂が積もってできた石狩平野に位置しています。北海道にはアイヌ語を由来とする地名が多く、札幌（サツ・ポロ・ペツ）もその一つです。根釧台地は大規模な酪農、十勝平野は畑作が盛んな地域であり、札幌の位置する地形とは異なります。
-
- 問6** **答え 1**
加工用 ― バターやチーズ
- 北海道で生産される生乳の約84%は、バターやチーズなどの原料となる「加工用」として利用されています。これは生乳のままでは長距離輸送の間に品質が低下してしまうため、保存性を高めた乳製品に加工する必要があるからです。対して、都市に近い産地では、ほぼすべての生乳が「飲用」としてそのまま出荷される傾向にあります。
-
- 問7** **答え 1**
広大な土地を活用した大規模経営が行われ、生産額では畜産が大きな割合を占めている。
- 北海道は明治時代以降の開拓の歴史や、広大で平坦な土地という地理的条件を背景に、機械を用いた「大規模経営」が発達しました。気候面では、特に東部や北部を中心に冷涼な地域が多く、稲作よりも広大な草地を利用した酪農などの「畜産」に適しています。その結果、農業産出額においても畜産が51.7%と過半数を占め、米や野菜が中心となる日本全体の農業構造とは異なる独自の特色を持っています。

問1 札幌市の気候の特色を、本州の都市と比較して説明したものととして、最も適切な内容を選んでください。（2023年 福井公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。 | 2. 日本海流の影響を強く受けるため、1月の平均気温は氷点下にはならず、年間を通じて降水量が平均化されている。 | 3. 季節風の影響で冬の降水量は本州の日本海側より多いが、夏季は太平洋高気圧の影響で非常に高温多湿となる。 | 4. 1月の平均気温が氷点下となる一方で、梅雨前線の停滞により初夏の降水量が本州の都市よりも多くなる。 |
|--|---|---|---|

問2 札幌などの北海道西部に位置する都市では、冬の降水量（雪）が他の地域に比べて多くなる傾向があります。このような気候の特徴が生じる主な理由として最も適切な説明はどれですか。（2018年 長野県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 対馬海流（暖流）の上を通る湿った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため | 2. リマン海流（寒流）の影響で冷やされた空気が、太平洋からの湿った風とぶつかるため | 3. オホーツク海高気圧から吹き出す冷たく湿った北東風が、山脈を越えて流れ込むため | 4. 小笠原気団の発達により、南からの温かく湿った空気が年間を通じて供給されるため |
|---|--|---|---|

問3 北海道ではパルプ・紙・紙加工品製造業が地域の主要な産業の一つとなっています。この工業が北海道で発達した背景として、最も適切な理由を選びなさい。（2021年 京都公立入試 類似）

- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため | 2. 大規模な消費地である東京圏に隣接しているため | 3. 海外から輸入した木材チップの加工に特化した貿易港があるため | 4. 内陸部に高度な技術を持つ機械部品工場が集積しているため |
|---------------------------|---------------------------|----------------------------------|--------------------------------|

問4 札幌において、冬（12月～2月）の降水量が東京などの太平洋側の都市に比べて多くなる理由を、地理的な背景から説明したものとして正しいものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|-------------------------------|-------------------------------|--|--|
| 1. 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。 | 2. 冬に湿った南東の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。 | 3. 暖流である対馬海流から蒸発した水蒸気が、北東の季節風によって運ばれるため。 | 4. シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、太平洋上で水分を蓄えて戻ってくるため。 |
|-------------------------------|-------------------------------|--|--|

問5 日本の酪農において、北海道は大消費地から離れているという地理的条件に対応するため、生産された生乳の多くをある形態に変化させて出荷しています。この形態と、その主な製品の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------|-------------------|------------------------|------------------|
| 1. 加工用 — バターやチーズ | 2. 飲用 — 牛乳やコーヒー牛乳 | 3. 地場消費用 — ヨーグルトや生クリーム | 4. 輸出用 — 脱脂粉乳や練乳 |
|------------------|-------------------|------------------------|------------------|

問6 北海道の工業において、食料品工業が製造品出荷額の約3割を占める最大の製造業部門となっている背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2018年 三重公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達容易であるため | 2. 原材料を海外から輸入し、消費地である関東地方に近い港湾部で加工・輸送するのに適しているため | 3. 電力供給が安定しており、大規模な電力を必要とする金属の精錬や基礎化学品の製造に向いているため | 4. 高度な技術力を持つ労働力が集中しており、自動車や精密機械などの組み立て工場が密集しているため |
|--|--|---|---|

問7 北海道地方と九州地方の工業出荷額の内訳を比較した際、北海道では製造品出荷額のうち食品工業が占める割合が最も高いのに対し、九州地方では自動車などの機械工業の割合が高いという特徴が見られます。北海道において、特に食品工業の割合が高くなっている理由として、最も適切な説明を選びなさい。（2016年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 広大な土地を活用して生産される農産物を原料として、現地で加工を行う工場が多いため | 2. 海外から輸入した石油などの原料を加工する臨海型の工業地帯が全国的に見て集中しているため | 3. 最先端の技術が必要とする集積回路（IC）の工場が、空港や高速道路周辺に数多く建設されたため | 4. 豊富な森林資源を背景として、住宅用の木材や製紙・パルプの製造が製造品出荷額の半分以上を占めているため |
|---|--|--|---|

問8 北海道の泥炭地における土地改良の取り組みについて、不毛な湿地を農地に変えるために「排水施設の整備」と共に行われた、他の場所から新しい土を運び入れる作業の名称を選びなさい。（2025年 群馬公立入試 類似）

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 客土 | 2. 輪作 | 3. 干拓 | 4. 減反 |
|-------|-------|-------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 緯度が高いため1月の平均気温が氷点下となり、梅雨や台風の影響が少ないため夏季の降水量が本州に比べて抑えられている。	札幌市が位置する北海道は、日本の最北部に位置するため1月の平均気温が氷点下になるという厳しい寒さが特徴です。また、本州以南とは異なり、梅雨の影響をほとんど受けず、台風の通過も相対的に少ないため、夏季の降水量が本州の主要都市に比べて少なくなるという背景があります。
問2	答え 1 対馬海流（暖流）の上を通る温った空気が、北西の季節風によって運ばれてくるため	日本海側を流れる対馬海流は暖流であり、冬でも海水の温度が比較的高い状態にあります。この海上で発生した水蒸気を、大陸から吹き付ける冷たい北西の季節風が取り込み、北海道西側の山地にぶつかると雪として降らせます。このため、日本海側に面した地域では冬の降水量が多くなる特徴が見られます。
問3	答え 1 原料となる豊かな森林資源が豊富に存在するため	パルプ・紙・紙加工品製造業は、木材を原料とするため、森林資源が豊富な地域で発達しやすいという特性があります。北海道は日本全体の森林面積の多くを占めており、この豊かな森林資源を背景に製紙業などが地域の主要産業へと成長しました。
問4	答え 1 冬に温った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、北海道の日本海側に位置する札幌などに雪をもたらします。そのため、冬の時期に晴天が多く降水量が少ない太平洋側の都市と比較して、札幌では冬の降水量（降雪量）が多くなるという因果関係が生じます。
問5	答え 1 加工用 — バターやチーズ	北海道で生産される生乳の約84%は、バターやチーズなどの原料となる「加工用」として利用されています。これは生乳のままでは長距離輸送の間に品質が低下してしまうため、保存性を高めた乳製品に加工する必要があるからです。対して、都市に近い産地では、ほぼすべての生乳が「飲用」としてそのまま出荷される傾向にあります。
問6	答え 1 広大な土地や豊かな海から得られる農水産資源が豊富であり、原材料の調達が容易であるため	工業の立地はその地域の資源と深く関わっています。北海道はジャガイモやテンサイ、乳製品などの農産物、および沿岸・沖合で獲れる水産物が豊富です。これらを腐敗させずに効率よく加工するために、産地に近い場所で食料品工業が発達しました。その結果、全国平均と比較しても食料品工業への依存度が非常に高い産業構造となっています。
問7	答え 1 広大な土地を活用して生産される農産物を原料として、現地で加工を行う工場が多いため	北海道は日本の食料基地とも呼ばれ、広大な大地から収穫されるジャガイモ、甜菜（てんさい）、乳畜産物などが豊富です。これら重量のある原料を鮮度が高いうちに加工したり、輸送効率を高めたりするために、産地の近くに工場を置く「原料指向型」の食品工業が発展しています。これに対し、九州地方では「シリコンアイランド」としての集積回路や、自動車などの機械工業が大きな割合を占めるという違いがあります。
問8	答え 1 客土	泥炭地は植物の遺骸が腐敗しきらずに堆積した土地で、水分が多すぎて農業に適しません。この土地に別の場所から良好な土を運び込んで層を作ることを「客土（かくど）」と呼びます。この作業によって土地の質を改善し、排水施設で水分を除くことで、ジャガイモやテンサイなどの畑作や、牧草地としての利用が可能になりました。

問1 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。
2. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。
3. 歴史的な寺社仏閣が全国でも多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。
4. 冬季の積雪が厳しいため、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。

問2 北海道東部の根釧台地に位置し、夏に濃霧が発生しやすい冷涼な気候を生かして大規模な酪農が行われており、農業産出額の大部分を乳用牛が占めている自治体はどれか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. 別海町
2. 北見市
3. 新篠津村
4. 夕張市

問3 かつて農業に不向きであった石狩平野の泥炭地を、日本有数の稲作地帯へと変えるために行われた工夫や取り組みについて、正しい説明を選んでください。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。
2. 大規模な森林伐採を行い、燃やした灰を肥料として土地に混ぜる「焼畑」を繰り返した。
3. 地力を回復させるために、農地を数年ごとに休ませる「輪作」を導入した。
4. 高台から水を引くための大規模な「ため池」を建設し、乾燥した土地に水分を供給した。

問4 北海道の倶知安町やニセコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

1. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため
2. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため
3. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため
4. 流水を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため

問5 北海道の根釧台地など、夏の気温が低く稲作に適さない地域で見られる、広大な土地を利用して乳牛を飼育し、生乳やバターなどを生産する農業形態を何といいますか。（2019年 岡山公立入試 類似）

1. 酪農
2. 果樹栽培
3. 稲作単一経営
4. 施設園芸

問6 北海道において、スマート農業が他地域に先駆けて積極的に推進されている理由を、土地利用の状況と社会的な背景から考察した説明として最も適切なものはどれですか。（2021年 宮城県公立入試 類似）

1. 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため
2. 山間部が多く機械の導入が困難なため、ICTによる遠隔操作が唯一の手段であるため
3. 高齢者の割合が全国でも最も低く、新しい技術を操作できる若者が過剰に存在するため
4. 小規模な農地が密集しているため、ドローンを使わなければ肥料が隣地に飛散するため

問7 地形図における縮尺の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれか。なお、札幌市の北海道大学植物園から南東方向に位置する市役所（地点B）までの実際の距離を1km（1000m）とした場合を想定して答えなさい。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
2. 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは2cmになる。
3. 5万分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。
4. 5万分の1の地形図では、図上の長さは5cmになる。

問8 都道府県別にみた観光地の特徴に関する統計において、自然の観光地数が90か所以上、レクリエーション地数が250か所以上と際立って多い一方で、国指定の重要文化財（建造物）の数は30か所未満にとどまるという特徴を持つ都道府県はどこか、次の中から選びなさい。（2015年 岐阜公立入試 類似）

1. 北海道
2. 京都府
3. 奈良県
4. 東京都

答え合わせ・解説

問1	答え 1 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問2	答え 1 別海町	根釧台地は寒流である親潮の影響で夏でも気温が上がりにくく、稲作や畑作が難しいため、広大な土地と牧草を利用した酪農が発達しました。選択肢の北見市は玉ねぎなどの畑作、新篠津村は石狩平野での稲作が中心であり、夕張市はメロン栽培などで知られています。
問3	答え 1 他の場所から性質の良い土を運び入れる「客土」や、排水路の整備といった土地改良を行った。	水分過多で栄養不足な泥炭地を農地に変えるため、排水路を作って湿地を乾かし、別の場所から運び込んだ肥沃な土を混ぜ合わせる「客土」などの土地改良が大規模に実施されました。この地道な努力の結果、石狩平野は北海道を代表する米どころとなりました。
問4	答え 1 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問5	答え 1 酪農	北海道東部の根釧台地では、夏でも気温が上がりにくい冷涼な気候を活かして、広大な土地で乳牛を育てる酪農が盛んに行われています。ここでは、大型機械を導入した大規模経営が行われており、日本全体の生乳生産において極めて重要な役割を果たしています。
問6	答え 1 広大な経営面積に対して従事者が不足しており、省力化の必要性が極めて高いため	北海道の農業は、全国平均の約14倍という広大な耕地面積を誇りますが、従事者の高齢化と減少が進行しています。広すぎる土地を限られた人数で管理しなければならないという北海道特有の状況が、自動運転やロボットによる「省力化（労働力を節約すること）」を強く必要とさせており、スマート農業の普及を後押ししています。
問7	答え 1 2万5千分の1の地形図では、図上の長さは4cmになる。	実際の距離が1km（100,000cm）の場合、2万5千分の1の地形図では、100,000を25,000で割った4cmとして表現される。一方で、5万分の1の地形図では、100,000を50,000で割った2cmとなる。縮尺の分母が大きくなるほど、同じ実際の距離は図上でより短く表示されるという因果関係を理解しておく必要がある。
問8	答え 1 北海道	北海道は、明治時代以降の開拓という歴史的背景から、京都府や奈良県のような古都と比較して歴史的な建造物の数は少ない傾向にあります。その一方で、広大な土地と豊かな自然環境を活かした国立公園などの自然景勝地や、スキー場・キャンプ場といったレクリエーション施設が非常に多く、自然観光を中心とした独自の産業構造を持っています。

問1 北海道の北東部に位置するオホーツク海沿岸では、冬の時期に大陸から海面を漂流してくる氷の塊が見られます。地域の貴重な自然観光資源としても活用されているこの現象の名称を選びなさい。（2021年 兵庫公立入試 類似）

1. オホーツク海で見られる流氷 2. 日本海で見られるマリモ 3. 太平洋で見られる流氷 4. オホーツク海で見られる有珠山の火山灰

問2 北海道の東部に位置し、その東側に国後島を望むことができる半島は、独自の生態系が維持されていることからユネスコの世界自然遺産に登録されています。この地域の説明として正しいものはどれですか。（2025年 茨城公立入試 類似）

1. 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。
2. 根室半島では、広大な釧路湿原とつながるラムサール条約登録地として、タンチョウの繁殖地を保護する取り組みが行われている。
3. 下北半島では、日本最北端の地として知られる岬があり、野生のニホンザルの生息地として世界自然遺産に登録されている。
4. 能登半島では、複雑な海岸線を利用した漁業と、伝統的な農法が一体となった世界自然遺産としての景観が維持されている。

問3 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 内陸性気候 2. 海洋性気候 3. 瀬戸内の気候 4. 南西諸島の気候

問4 北海道の農業産出額の構成において、畜産の占める割合が5割を超え、米の割合を大きく上回っている理由として最も適切な説明はどれですか。（2016年 岩手県公立入試 類似）

1. 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため
2. 冷涼な気候を活かして、米の生産に特化した大規模農業が行われているため
3. 大消費地に近い利点を活かして、野菜の生産を最も重視しているため
4. 平地が少ないため、傾斜地を利用した果樹栽培が盛んに行われているため

問5 北海道の石狩平野における大正時代から現代にかけての地形の変化について、統計や地図上の情報を文章で説明した次の記述のうち、正しいものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。
2. 山間部の流路を直線化したことで大規模な扇状地が形成され、現在は一面の畑地となっている。
3. 海岸付近の流路をあえて蛇行させることで砂浜の浸食を防ぎ、現在は広大な塩田として利用されている。
4. 河川を完全に埋め立てて住宅地としたため、現在は鉄道を中心とした放射状の道路網が広がっている。

問6 日本の諸地域の気候区分において、北海道の札幌市などで見られる、冬の寒さが厳しく1月の平均気温が氷点下になる気候帯の名称として適切なものを次の中から選びなさい。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 温帯 2. 冷帯（亜寒帯） 3. 熱帯 4. 乾燥帯

問7 面積が約83,424平方キロメートルと都道府県で最大であり、多くの外国人観光客も訪れる北海道において、2005年に世界自然遺産に登録された半島はどこか。周辺にはラムサール条約に登録された湿原も存在し、豊かな生態系が守られている。（2017年 愛知県公立入試 類似）

1. 知床半島 2. 積丹半島 3. 根室半島 4. 下北半島

問8 札幌市中心部を描いた2万5千分の1の地形図において、JR札幌駅から札幌市役所（地点B）までの図上の長さを測定したところ、ちょうど3cmであった。このとき、これら2地点間の実際の距離として適切なものはどれか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

1. 250m 2. 500m 3. 750m 4. 1000m

問9 北海道の石狩平野では、かつて激しく蛇行していた石狩川の流路を、人工的に作り替える大規模な治水工事が行われました。このような「河川の直線化」が行われた主な理由と、その後の土地利用の変化について説明した記述として最も適切なものはどれですか。（2021年 神奈川県公立入試 類似）

1. 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。
2. 内陸部への大型船の通航を可能にし、水上交通を利用した工業地帯を形成するため。
3. 川の流れを緩やかにすることで土砂を堆積させ、大規模な果樹園を造成するため。
4. 水力発電のための貯水池を確保し、周辺に製紙工場を誘致して工業化を進めるため

答え合わせ・解説

問1	答え 1 オホーツク海で見られる流氷	北海道の北東側に面するオホーツク海では、冬になるとロシアのアムール川から流れ出した真水が凍り、それが風や海流に乗って南下してきます。これが「流氷」と呼ばれる現象です。マリモは阿寒湖で見られる植物、有珠山は北海道の南西部に位置する活火山であり、それぞれ発生場所や性質が異なります。
問2	答え 1 知床半島では、流氷がもたらす栄養分を基点とした海と陸の食物連鎖が見られ、ヒグマや希少な猛禽類などの野生動物が保護されている。	知床半島は、2005年に世界自然遺産に登録されました。この地域は、冬に接岸する流氷がもたらすプランクトンを土台に、魚類、それを食べる海獣や鳥類、さらに陸上のヒグマへとつながる豊かな生態系が、高い密度で維持されている点が評価されています。東側には北方領土の一つである国後島が隣接しています。
問3	答え 1 内陸性気候	北海道の中央部は海から離れているため、比熱の小さい陸地の影響を強く受けます。水に比べて陸地は温まりやすく冷めやすいため、夏は気温が上がりやすく、冬は極めて寒冷になる内陸特有の気候が形成されます。冬には氷点下まで気温が下がり、積雪も見られるのが大きな特徴です。
問4	答え 1 広大な土地を活かして、乳牛などの大規模な飼育が行われているため	北海道の農業は、1戸あたりの耕地面積が非常に広く、機械化された大規模な経営が特徴です。特に、稲作が困難な地域も含め、広大な草地を利用した酪農（乳牛の飼育）が全域で盛んに行われているため、産出額に占める畜産の割合が突出して高くなります。「米の割合が高い」あるいは「野菜の割合が高い」といった他の地域の構成とは、土地利用の規模の面で大きく異なります。
問5	答え 1 蛇行していた河川が直線的に改修され、それに伴い碁盤目状の道路が整備され、橋の数も増加した。	大正時代などの古い地図に見られる石狩平野は、河川が激しく蛇行し、土地の多くが湿地で橋も少ない状態でした。しかし、現代の状況を示す資料では、治水工事によって流路が直線的に整えられています。これに合わせて、開拓を効率的に進めるために土地が碁盤目状に区画整理され、道路網の整備とともに、分断されていた地域を繋ぐ数多くの橋が架けられるなど、土地利用が高度化しました。
問6	答え 2 冷帯（亜寒帯）	日本の大部分は温帯に属していますが、最北に位置する北海道は冷帯（亜寒帯）に分類されます。この気候帯は、冬の寒さが非常に厳しく、夏が短いことが特徴です。札幌市の統計を見ると、1月の平均気温がマイナス5度前後まで下がる一方、7月には20度を超えるなど、年間の気温差が大きいことも特色の一つです。
問7	答え 1 知床半島	北海道の北東部に位置する知床半島は、流氷がもたらすプランクトンを起点とした海と陸の豊かな食物連鎖が評価され、世界自然遺産に登録されました。また、北海道には釧路湿原などラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録された湿地が数多く存在します。
問8	答え 3 750m	2万5千分の1の地形図では、実際の距離を25,000分の1に縮小して描いている。そのため、図上の1cmは実寸で25,000cm（250m）に相当する。図上の長さが3cmである場合、250mを3倍した750mが実際の距離となる。単位をセンチメートルからメートルへ換算する計算過程を正確に行うことが重要である。
問9	答え 1 洪水の被害を軽減して水を速やかに海へ流し、泥炭地を排水して農地を拡大するため。	石狩平野のような低湿地では、かつて河川が激しく蛇行していたため、大雨のたびに氾濫による深刻な洪水被害が発生していました。流路を直線化する工事（ショートカット）を行うことで、増水した河川の水を速やかに海へ排出できるようになり、治水機能が向上しました。これにより、もともと水分を多く含んでいた泥炭地の排水が進み、碁盤目状の区画を持つ大規模な稲作地帯などの農地へと転換することが可能になりました。